

- | | | | | | |
|-------|-----|-------------------|-------|-------|-------------------|
| 昭和57年 | 3月 | 秋田石油備蓄株式会社設立 | 平成 7年 | 6月 | 東基地地中式原油タンク2基完成 |
| 昭和58年 | 5月 | 西基地地中式原油タンク建設工事着工 | 平成 7年 | 7月 | 第4次オイルイン (58万kl) |
| 昭和63年 | 6月 | 東基地地中式原油タンク建設工事着工 | 平成14年 | 7月 | 石油公団廃止関連法公布 |
| 平成元年 | 10月 | 西基地地中式原油タンク4基完成 | 平成15年 | 4月 | 備蓄原油国有化 |
| | 11月 | 西基地地上式原油タンク4基買取り | 平成16年 | 1月31日 | 秋田石油備蓄(株)解散 |
| | 11月 | 第1次オイルイン (89万kl) | 平成16年 | 2月 1日 | 備蓄施設国有化、(株)秋備操業開始 |
| 平成 4年 | 1月 | 積み増し実施 (12.4万kl) | | 2月29日 | 独立行政法人 |
| 平成 4年 | 11月 | 東基地地中式原油タンク6基完成 | | | 石油天然ガス・金属鉱物資源機構設立 |
| | 12月 | 第2次オイルイン (114万kl) | | | 国から原油・施設の管理運営を受託 |
| 平成 5年 | 5月 | 第3次オイルイン (87万kl) | | | 基地の操業を(株)秋備に委託 |



秋田国家石油備蓄基地

—お問合せ—

○独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 資源備蓄本部
 〒112-0002
 東京都文京区小石川1丁目4番1号 住友不動産後楽園ビル
 tel 03-5804-1400
<http://www.jogmec.go.jp/>

○独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 秋田国家石油備蓄基地事務所
 〒010-0511
 秋田県男鹿市船川港船川字芦沢219番地
 tel (0185) 24-6121

安全・安心な石油の備え



秋田国家石油備蓄基地

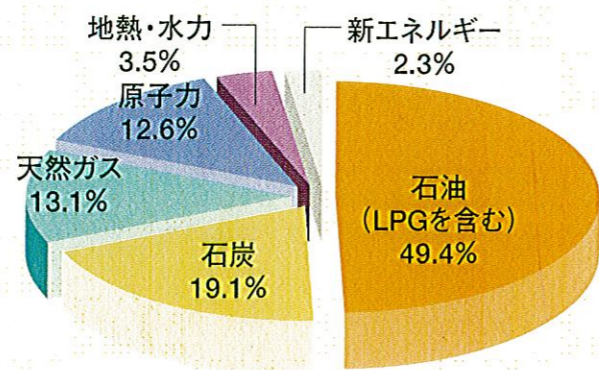
石油と国家備蓄

備蓄の必要性

日本は、アメリカ、中国、ロシアに次ぐ世界第4位のエネルギー消費国です。エネルギーの構成比をみると、石油の占める割合が49.4%（2001/平成13年）と非常に高く、その99.7%を海外から輸入しております。また輸入先の84.6%は中東諸国に集中しており、国際情勢に直接左右され易い環境であることを示しています。

従って緊急事態に備え石油の安定供給を確保し、また私達の生活や経済を守るためにはエネルギーの安全保障の基本である石油備蓄が必要なのです。

■日本の一次エネルギー構成比 2001年度

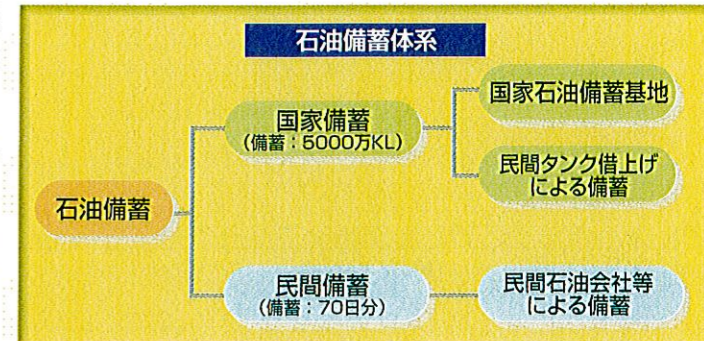


(出典) 資源エネルギー庁

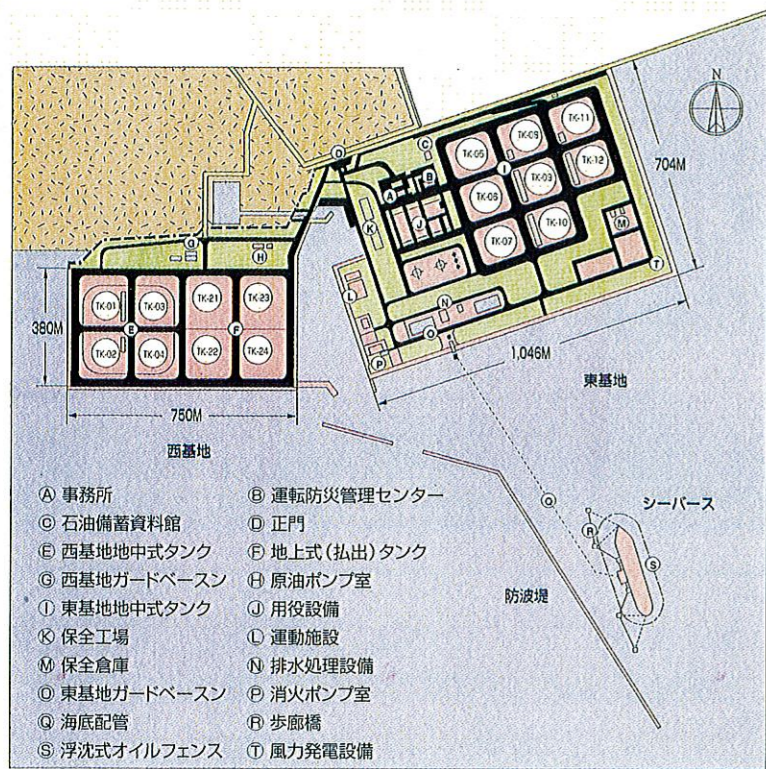
現状と施策

我が国の石油備蓄事業は、1972(昭和47)年度から民間備蓄が始まり、1978(昭和53)年度からは国家備蓄が開始されて、現在2本立てで進められております。

国家備蓄では、全国10ヶ所の国家石油備蓄基地と民間から借上げたタンクに約5,000万klの原油が貯蔵されております。一方民間備蓄は、法律により義務づけられた石油会社が約4,000万klの原油及び製油製品を備蓄しております。両方を合わせた約9,000万klの石油は、国内消費量で換算すると約163日分(2004(平成16)年現在)になります。



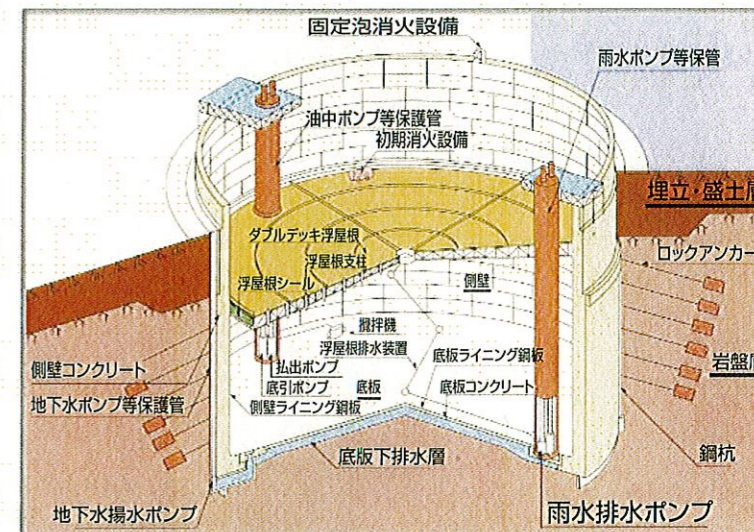
設備の概要



主要設備一覧

区分	名称	設備内容	数量
敷地	西基地	約39ヘクタール]約110ヘクタール
	東基地	約71ヘクタール	
貯油設備 (原油タンク)	地上式(引出)タンク	西基地 10万kl シングルデッキ浮屋根式タンク 西基地 12万kl シングルデッキ浮屋根式タンク	2基 } 44万kl
	地中式タンク	西基地 30.5万kl ダブルデッキ浮屋根式タンク 東基地 35.3万kl ダブルデッキ浮屋根式タンク	4基 } 404万kl
操油設備	原油ポンプ	3,200kl/時 1,600kl/時	2台 } 8,000kl/時
	地中タンク引出ポンプ	1,000kl/時	12台
用役設備	蒸気設備	ボイラー蒸発量 2t/時	9基 } 18t/時
	受電設備	33kV 6,000kVA	1式
電気設備	風力発電設備	風力発電設備 1,500kw	1基
	非常用発電設備	ディーゼル発電機 3.15kV 1,700kVA	1基
計装設備	運転管理システム	集中制御監視装置	1式
	安全防災設備	陸上施設消火設備	1式
安全防災設備	消防自動車	消火ポンプ、漲水設備、泡消火設備、ハロゲン化物消火設備	1式
	固定係留施設消火設備	大型化学消防車、高所放水車、泡原液搬送車、甲種普通化学消防車等	1式
環境保全設備	防災通報監視設備	消火ポンプ、泡放水砲、泡消火栓等	1式
	訓練用タンク	消防船、オイルフェンス展張船、油回収船、作業船	4隻
シーバース	オイルフェンス	浮沈式 可搬式(B型) 700m×3基、600m×1基(展張船内)	1,000m } 2,700m
	防災通報監視設備	自動火災報知器、漏油検知器、侵入警戒設備	1式
環境保全設備	含油排水処理設備	訓練用タンク、消火用水設備、排水設備、燃料供給設備	1式
	固定係留施設	CPIオイルセパレーター、ガードベース	1式
水域及び外郭施設	防波堤	5万~18万DWTドルフィン	1式
	航行援助設備	ローディングアーム16B	3基
環境保全設備	海底配管30B	海底配管30B	900m×2条
	航行援助設備	航路:水深20m、幅員300m 泊地:水深19m、面積約33万㎡	1式
環境保全設備	防波堤	防波堤	1式
	航行援助設備	接岸速度計、気象海象計、監視テレビ、標識灯等	1,720m } 1式

地中タンクの構造図



~地中タンク方式~

- 【特色】
- ・漏油、拡散の危険性が低い
 - ・タンク間距離が小さく、土地の有効利用が可能(地上タンクの約3倍の容量)
 - ・耐震性に優れている
 - ・景観への影響が少ない

安全防災・環境保全

安全防災

安全防災は備蓄基地運営・管理の基本です。

当基地では、常日頃から設備の安全運転、タンク・パイプライン等設備の管理・点検、事故・災害の未然防止のための安全防災教育・活動に努めるとともに、最新の設備による24時間体制の遠隔監視および防災パトロールを行っています。また、万一の事故・自然災害に備え、消防車両・防災船・各種防災資機材を配備し、日々訓練を積み重ねています。



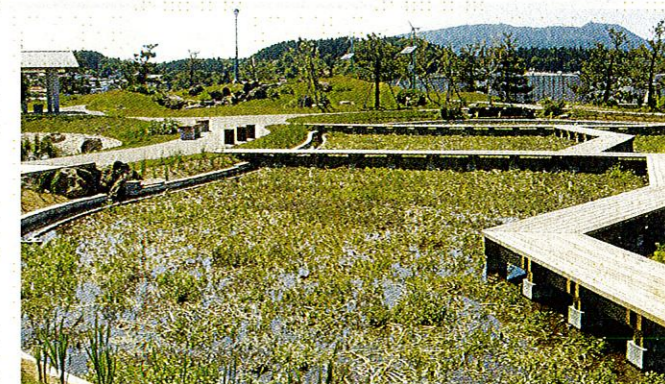
実消火訓練

環境保全

地域と共にある備蓄基地にとって、環境保全の問題は安全防災と並んで重要な課題です。

操業による環境負荷を減らす努力とともに、自然の力を利用した環境対策を実施し、緑豊かな基地作りにも努めています。また、恵まれた立地条件を生かし自然エネルギーを利用した風力発電を実施しています。

石油備蓄資料館では、石油をはじめエネルギーについて学習することもできます。



緑化